

令和7年度 江戸川区立松江第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標		成果		課題										
<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで学ぶ生徒 ・心の豊かな生徒 ・健康でたくましい生徒 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践（SDGs、ユニバーサルデザイン） ・運動会、文化祭等規模を縮小せず、生徒・保護者のニーズに応えた学校行事の完全実施 ・授業改善の継続、補習・自習教室、家庭学習の推進等による基礎学力の定着の成果が顕現 ・本校入学を選択する生徒数の増加（昨年度新入生は146人に、予想数より大幅増加。昨年度転入生10人は定年で通学している） 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習習慣の未定着への一層丁寧な対応による基礎学力向上 ・授業力向上により、応用発展学習の推進 ・不登校及び不登校傾向生徒、特別支援を要する生徒、外国籍生徒への個に応じた指導や支援の充実 										
重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価(A～D)		「年度末」学校関係者評価(A～D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に對しての学校の組織的に対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着、ICT・タブレットの効果的活用 ・補習・自習教室の機会拡充、適切な課題提示、学習状況の把握と評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の数値を上回る（昨年度、都平均より国語-7 数学-4、一昨年度より上昇） ・生徒・保護者アンケートの「学習指導・授業工夫」の項目、高評価93%以上（昨年度91%一昨年度76%） 	50	70	C	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査では、今年度、都平均より国語-7→-3の数学-4→-5△、理科-0.6△の結果であった。引き続き授業改善を推進する ・「基礎学力定着」高評価（保護者57% 生徒75%） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度は落ち着いていて大変良い、学力を伸ばしてほしい 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・区学力調査は英数は全校平均超え、国はほぼ全国平均 ・生徒アンケート「授業に意欲的」の割合が、「学力向上した」のは6〜7割。この差を埋めることが課題 ・「学年相当の基礎学力は身についた」生徒80%、保護者65% ・EDOSの参加率も安定 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度はたいへん良い ・引き続き、授業を工夫し、生徒の学力を向上させてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善（目標定時と振り返りの工夫）、家庭学習時間の確保で成果を上げる ・ドリルワークの一層の活用 ・単元テスト、確認テストの実施方法を工夫し、生徒自身の到達度の把握、指導法の改善につなげる
	<読書力の向上> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自治行事・校外学習の事前事後学習で、探究学習成果物の完成・レベルアップ ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の増加 ・よよむワークシートの有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒の読書力の探究活動成果物、完成 文化祭等で公開 ・「コンクール」の出品促進 ・生徒アンケートの「情報収集・発表力向上」の高評価90%以上（昨年度88%、一昨年度83%） ・学校公開等で作品展示の保護者高評価92%以上（昨年度90%） 	70	90	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集・発表力向上」高評価（生徒89%） ・読書科、探究活動の成果物は制作中、文化祭、公開等で発表 ・各学年タブレットを使ったプレゼン発表は成果大 ・YOMIYOMIワークシートは好評 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭・学校公開での生徒作品を楽しみにしている 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集・発表力向上」高評価（生徒92%） ・人権プロジェクトでは、全学年、工夫あるプレゼン作品が発表できた ・中央図書館よりテーマごとに定期的な本貸与できた ・よよむワークシートは効果的に活用できた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を返す生徒も多く、思いやりのある優しい生徒が多いと感じる。人権尊重の精神は忘れず、教育活動を行ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館との一層の連携事業を工夫し、読書科の時間を充実させる ・探究活動、発表の場を数多く設定し、プレゼン力を向上させる
	<英語力の向上>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語授業において、会話力を伸ばす取組の継続・推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「英語」の授業意欲・学力向上90%以上 ・確かな英語で会話できる環境の醸成 	70	80	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業導入時・学習活動中、スピーキングを多く取り入れている。生徒はグループ・ペア活動等意欲的である ・英語の授業意欲は高評価 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してほしい 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーキングテストの結果は昨年より向上した ・学力調査、英語は上昇 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業態度は良い、活発に会話をしている場面が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・区のイングリッシュデイ等より一層英語を話す場面を設定していく。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣改善の呼びかけと生活リズム・自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・グロリアティチャーや講演、掲示物により、スポーツに親しむ心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・感冒・感染症による学校・学年閉鎖なしの継続（昨年度学校閉鎖1回） ・体力テスト評価、区平均、都平均を上回る ・生徒・保護者アンケートの「基本的な生活習慣」の項目高評価95%以上（昨年度93%） ・「生活リズム」の項目高評価8%以上（昨年度73%） 	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣・体力向上」高評価（保護者82% 生徒88%） ・運動会も全校でのダンス、団体種目等で参加意欲向上 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会はいへん良かった、今後もこの形を続けてほしい ・スマホ・ゲーム時間が多い ・地域の運動会・行事にも積極的に参加してほしい 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果はほぼ全学年平均を上回った ・運動意欲の継続の成果である ・スマホ・SNS・ゲーム時間はほぼ変化なし、1学年の時間増が課題 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後・休日も部活動で頑張る姿を見ている ・引き続き、体育の授業や体育的行事を工夫し、生徒の健康・体力向上を目指してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度もタブレット活用（Gate）により、学習時間の増加・生活習慣の改善につなげていく ・教育活動全般で自身の健康づくり・体力向上の意識を高めさせる
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた園に於いた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副属交流、交流及び共同学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・支援委員会にて特性理解をベースに、具体的な支援策の共有 ・関係諸機関との緊密な連携（特にヤングケアラー、ネグレクト系） ・生徒・保護者のニーズに合わせた活用促進（オンライン授業、個別学習等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する生徒が、安心して通常の学校生活を送る（行動観察） ・生徒・保護者アンケートの「学校生活充実」の項目高評価95%以上（昨年度93%、一昨年度89%） ・保護者アンケートの「不登校、特別支援への指導」の項目高評価80%以上（昨年度62%） 	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活充実」高評価（保護者93% 生徒94%） ・「不登校、特別支援への指導」高評価（保護者83% 生徒94%） ・支援委員会にて適切な対応策を共有、関係諸機関とも連携を継続中。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー、ネグレクト等心配なことがあれば、民生児童委員に連絡してほしい ・一応相関係諸機関とも連携して対応している 最悪の状態は絶対に防ぐ手立てを行っている 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活充実」高評価（保護者93% 生徒95%） ・支援の手立てができていない生徒は0である ・生徒・保護者アンケート「生活への適切な支援」高評価96% 80% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人丁寧に対応してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も保護者・生徒のニーズに合わせた対策を迅速適切に行っていく
教育現場に向けた実践の推進	<防災教育の一層の推進>	<ul style="list-style-type: none"> ・万事に対応できる避難訓練の実施 ・地域と連携した地震・水害時避難場所としての体制確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の迅速な避難所開設実施 ・教職員の防災対策意識向上（年度末調査で9割以上） 	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫の整備、水害・ジャラート等の避難訓練も実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練実施の際はすぐで協力する 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設訓練は3月に実施 ・地域間でも協力の体制ができた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設時は地域でもできるかぎり協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間会とより一層の連携を深めていく
	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校生徒への対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席増加（連続3日を目安）による初期対応と適切な支援、関係機関との連携 ・ステップアップルーム、エンカレッジサポーターの有効活用 ・長期休業明けのケアを特に丁寧にいく 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の減少（目標15以下、昨年度末30） ・どこにもつながらない生徒をゼロに（支援委員会で随時確認） 	70	80	B	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒は18人、個々に適切に対応中。どこにもつながっていない生徒はゼロ ・SC SSW 関係諸機関とも円滑に連携 今後もより良い形を探る 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応しているので、安心している 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期には、不登校生徒は確認した（約30人）、個別の対応を丁寧に引き、どこにもつながっていない生徒は0である ・ステップアップルームの活用が進んだ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な不登校の原因があると思しい、一人一人丁寧に対応してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もSC SSW 関係諸機関とも連携し、最適な対応を実行する ・ステップアップルーム・ステップアップサポーターの活用を工夫し、教室復帰へ向かわせる
不登校・いじめ対応の充実	<いじめ案件の対応（「迅速・丁寧・共有」を合言葉に知能に重点を置く）> ・教育相談の強化 ・Hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談、SC面談等の情報共有 ・L-Gateによる日々の生徒の心身状態の把握と助言 ・HyperQUの分析による要支援・不満足群への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ案件を取りなくゼロに近づける ・L-Gateの生徒自身の有効活用9割以上 ・HyperQUの要支援・不満足群の改善（一昨年度は全クラスとも改善） ・保護者アンケートの「いじめ指導、問題行動解決」の項目高評価85%以上（昨年度79%） 	70	90	B	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事案につながる件はなし、SNSトラブルは数件あったが、解決済み ・「いじめ指導、問題行動解決」高評価（保護者85% 生徒95%） ・QUの結果を学年・担任が分析し対応中 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子を見ると、落ち着いている ・SNSのトラブル等ははやくに対処してもらい、良かった 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめへの適切な対応」高評価 生徒97% 保護者84% ・いじめ重大事案につながる案件は無し 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応していると思える 	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止、初期対応を常に共有・連携体制をとる ・いじめ防止の授業の工夫
	<自校（園）の取組の積極的な発信> ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日更新をめざし、適切な情報公開の実施 ・地域と連携した地震・水害時避難場所としての体制確保 ・土曜授業・学校の年3回実施 ・保護者会等の欠席者への適切な情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「情報発信」の項目高評価98%以上（昨年度97%、一昨年度95%） ・学校公開時の保護者アンケート、高評価90%以上（昨年度85%） 	95	95	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報発信」高評価（保護者96%） ・通知文等をtetoru発信に切り替え高評価 ・9月学校説明会に120人以上出席 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HPがリニューアルし、見やすくなった ・今後も生徒の活躍をHPで伝えてほしい 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報発信」高評価（保護者96%） ・様々な場面でtetoruを有効活用できた ・自治行事・校外学習のHP更新は保護者に好評であった ・学校の良い様子を伝えられたことが新入生の増加につながったと考えている 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は適切に情報発信を行っている。良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生徒の活躍が伝えられるHPの更新、保護者の方への確かな情報発信を継続していく
学校（園）地域社会に開かれた実践	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの生徒・保護者アンケートの実施 ・PTA役員会、学校評議員会による意見聴取 ・個別テーマの研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者アンケートの「教育活動改善」の項目高評価90%以上（昨年度84%） ・本校への肯定的な意見、9割以上（昨年度、批判的な意見はほぼなし） 	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「教員との信頼関係」高評価（保護者86% 生徒94%） ・PTA 評議員会で肯定的な声が多数 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公開での保護者意見はほぼ高評価である ・評議員会時の授業見学でも、生徒の様子は良かった 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「教員との信頼関係」高評価 生徒97% 保護者84% ・来年度でも人権意識が向上している場面が多かった ・毎月の人権教育目標は意識できた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事で、先生と生徒との関係が良いと思う。続けてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のクラス増（ここ10年で最大の11クラス）を好材料とらえ、教員と生徒のより良い関係を築くことを主眼に現在の教育活動を見直ししていく
	<令和3・4年度 都人権尊重教育推進校の成果を継続発展>	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり（校内環境整備、講演会、道徳授業等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者アンケートの「人権教育推進」の項目高評価90%以上（昨年度生徒88% 保護者82%） 	90	90	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権教育」高評価（保護者87% 生徒95%） ・月ごとの人権重点目標で教員の意識も向上している ・人権意識を基盤とし、適切な言動を推進している 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してほしい 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権教育」高評価（保護者88% 生徒96%） ・道徳授業でも人権意識が向上している場面が多かった ・毎月の人権教育目標は意識できた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業公開はとても良かった。生徒が集中し、深く考えていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育目標を常に意識し指導助言ができるように、管理職・主幹・主任が意識して行動する
教育の展開	<教員研修のさらなる工夫と実施>	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTグループと研修グループを融合し、教員同士の力量の向上 ・個別テーマの研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の面接、校内研修で成果を報告、教員自己高評価8割以上、持続可能な研修への更なる助言 	70	80	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員を4つのグループに分けOJTを逐次実施。若手教員からの好意も多数 ・各教員自身のテーマで外部研修進捗中 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、研修の成果を共有し、学校全体の指導力アップにつなげてほしい 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・通常時の研修・脱履研修もふくめて、OJTグループは若手教員に一定の成果があった ・授業見学も共有でき、次年度につなげられた 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫しながら続けてください 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修体制に一層の工夫をしていく。ミニマム研究授業の形で互いの指導力を高め合う研修を予定している
	<働き方改革の一層の推進>	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の告知・呼びかけ ・部活動時間の改定（昨年度より年間通し18時最終下校）→生徒生活リズムの安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外80h 越え産業医面談を年間を通じてゼロに（昨年度2人、一昨年度の65人） ・ストレスチェックは区内上位で、働きがい@同僚・管理職からの支援の結果 	70	80	B	<ul style="list-style-type: none"> ・80h以上は昨年よりも確実に減少、今後も減少させる ・ストレスチェックは区内上位で、働きがい@同僚・管理職からの支援の結果 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の仕事はハードなので、管理職が意識して、心身のリフレッシュをはからせてほしい 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・面接指導を受けた教員は今年度ゼロ ・ストレスチェックも時間外勤務は減少傾向である 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職の先生は、先生方とコミュニケーションを密にこまめ、リフレッシュを促す、働き方改革をしっかりと見極めて対応していただきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教員が働きたいと思える学校」づくりを意図し、一貫定時退勤日の予告、リフレッシュのための休暇取得を推進していく